

■主な巨大地震一覧

西暦	名称/時代:地域	推定 マグニチュード	古文書記述や津波堆積物調査等からの被害状況等
863	貞観:越中越後	—	直江津村付近の数個の小島潰滅。
868	貞観:播磨・山城	7.0以上	山崎断層の活動?
869	貞観三陸沖地震	8.3	津波が多賀城を襲う。
878	元慶:関東諸国	7.4	京都でも有感。
887	仁和地震/五畿・七道	8.0~8.5	南海トラフ沿いの巨大地震と思われる。五畿七道諸国、京都・摂津を中心に死者多数。津波あり。
1096	永長:畿内・東海道	8.0~8.5	津波が伊勢・駿河を襲う。東海沖の巨大地震とみられる。
1099	康和:南海道・畿内	8.0~8.3	興福寺・摂津天王寺で被害。津波があつたらしい。
1361	正平地震/畿内・阿波・土佐	8.5	1週間前から京都付近で地震多発。津波で摂津・阿波・土佐に被害。海岸から約4km離れた天王寺付近まで津波襲来。南海トラフ沿いの巨大地震と思われる。
1498	明応:東海道全般	8.2~8.4	震害はそれほどでもなく、津波の被害が甚大。南海トラフ沿いの巨大地震と思われる。
1596.4	慶長:豊後	7.0	前月から前震があつたらしい。大分で大津波。
1596.11	慶長:畿内	7.0	神戸震度7、大阪震度6。京都・大阪・神戸で被害大。
1605	慶長:東海南海西海諸道	7.9	ほぼ同時に2つの地震が発生?
1611	慶長:三陸沖地震	8.1	震害は軽く、津波被害大。1933年の三陸地震津波に似ている。
1677	延宝:磐城・常陸・安房など	8.0	磐城から房総にかけて津波被害、死者不明500人超。
1703	元禄地震/関東諸国	7.9~8.2	被害の状況は関東大震災と似ている。相模トラフ沿いの巨大地震と思われる。
1707	宝永地震/五畿・七道	8.6	わが国最大級の地震の一つ。震害は東海道・伊勢湾・紀伊半島で最もひどく、津波は紀伊半島から九州まで太平洋沿岸や瀬戸内海を襲った。大阪では死者264人。摂津、尼崎でも被害あり。
1854.7	安政:伊賀・伊勢・大和	7.0	3日前から前震あり。死者は全体で1500を超える。木津川断層の活動と推定。
1854.8	安政:陸奥		地割れがあつた。
1854.12	安政東海地震	8.4	被害は関東から近畿に及ぶ。津波は房総から土佐までの沿岸を襲う。
1854.12	安政南海地震	8.4	32時間後に発生。被害は中部から九州に及ぶ。前日の地震の被害との区別困難。地震と津波の被害の区別も困難。
1854.12	安政:伊予西部・豊後	7.3~7.5	さらに1日後に発生。南海地震の被害との区別困難。その翌年も各所でマグニチュード6~7.5クラスの地震が頻発。西宮で震度6。太平洋沿岸部が大きな津波、大阪では川を逆流して来た津波によって犠牲者が出る。
1891	濃尾地震	8.0	内陸地震としてはわが国最大のもの。建物全壊14万余。
1896	三陸沖地震/明治	8.2	震害はなく、津波が北海道から牡鹿半島にいたる海岸に襲来。死者21959人。
1923	関東大震災	7.9	死・不明10万5千余。津波が関東沿岸に襲来、熱海で12m。
1933	三陸沖地震/昭和	8.1	震害少なく、津波被害大。波高は28.7m有。
1944	東南海地震	7.9	静岡・愛知・三重などで合わせて全壊17599。津波は熊野灘で6~8m。
1946	南海地震	8.0	中部以西の各所で被害。全壊11591、津波は高知・三重・徳島沿岸で4~6m。神戸震度4。大阪港では、約2時間後に到達し80cmの潮位上昇を観測した。
1993	北海道南西沖地震	7.8	奥尻島の被害が甚大。
1994	北海道東方沖地震	8.2	最大震度は釧路市などの震度6。死者9名、行方不明者2名。
1995	阪神・淡路大震災	7.3	近畿圏の広域(兵庫県を中心に)に大きな被害を受ける。死者6,434名。
2007	新潟県中越沖地震	6.8	最大震度6強を記録。死者15名。原子力発電所が初めて被災。
2011	東日本大震災	9.0	日本における観測史上最高のマグニチュード9.0を記録。死者は1万5841人、行方不明者3490人(12月12日現在)

■正平地震(1361年)における津波被災地(大阪)の海岸線からの距離及び高度と兵庫県津波被害警戒化区域

